ハローキャリアワーク通信

令和６年８月２３日
教育総合センター
事業推進担当課

今回は、行われたアサヒ飲料株式会社からの依頼の「自然の恵みから生まれた１００年ブランド『三ツ矢サイダー』をこれからの１００年もつなげるために力をかしてくれませんか」とのオファーを受け、８月２２日・２３日に両日同内容で行いました。応募者も多く、両日で４８名のところ４倍近くの１７０名を超える応募をいただきました。両日とも暑さに加え、雷雨の心配もあ

りましたが、無事終了することができました。

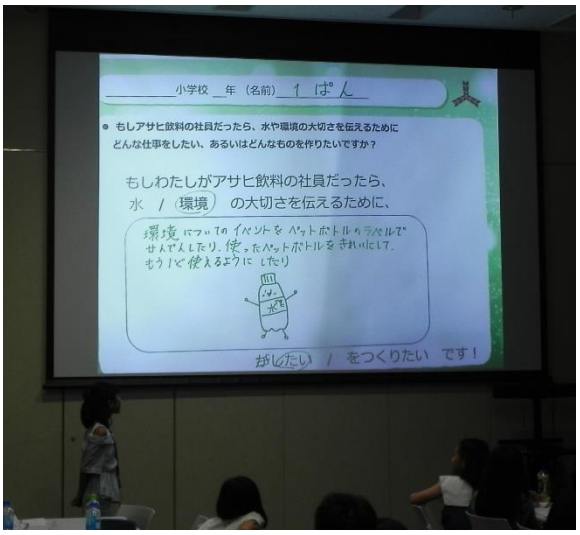
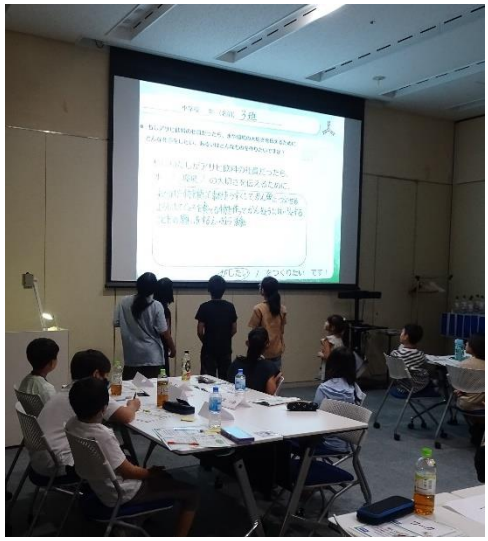
アサヒグループカルピス恵比寿ビルの正面で受付をすませた参加者たちは、地下の会議室で４つの班に分かれて席に着き、初めに教育委員会より、熱中症対策などの諸注意があり、アサヒ飲料の担当者の鈴木様にバトンタッチして開始されました。

鈴木様からは、本日の流れや管内での諸注意の後、まず、ビル見学を２つのグループに分かれて行われました。初めにＡグループは、執務室、会議室、名刺交換、自販機見学、Ｂグループは反対に自販機見学、会議室、執務室、名刺交換と各階が混雑しないように配慮され行われました。執務室は、２つのグループ企業が仕事をされるとのことでした。４つのコーナーには隔離させた部屋もありましたが、全体がオープンスペースになっており、一人で仕事を行うときに使うそうで、席は決まっていないとのことでした。大きな達磨が置いてあり、子どもから、「なんで青色なんですか」との質問もありました。このだるまは「アサヒの自販機をイメージしたカラー」であるとのことです。会議室では、今主力商品として力を入れている「特濃シリーズ」の売り上げ分析の会議の席に入れていただき、会議の持ち方の説明と今後の検討について話してくださいました。質問も受けてくださり、「新たな果

物の予定は？」と質問に、検討中とのことでした。２階の自販機の見学では、冷やす仕組み、料金の受け取り、電子マネーの仕組みなどを聞いた後、実際に、ボトルを枠の中に入れる体験もさせていただきました。また、二酸化炭素を取り込む仕組みを取り入れた自動販売機の説明を動画で行ってくださいました。そして、その箱が置かれる場所も教えてくださいました。質問も受けてくださり、「設置は無料」とのことで、いつでも押し込み頂ければとのことでした。最後に、地下の会議室に戻り、名刺交換を行いました。アサヒ飲料の方が参加した一人一人に学校名と名前を印刷した「名刺」と入れ物と用意してくださり、名刺交換の方法を教えてくださいました。その際、名刺の重要性も丁寧にお話しくださいました。「名刺入れを中指と人差し指で挟み、名刺を取り出し、自分の名前を相手側に向け、交換し、頂いた際には『頂戴いたします』と相手に伝える」とのことでした。説明を受けた後で、実際に行うことになり、グループ内で交互に行いました。最後に代表で、首都圏本部長の東様と名刺交換もさせていただきました。その後休憩を挟んで、いよいよ『三ツ矢サイダーLABO』の開始です。前半は、『アサヒ飲料』が何をしている会社か？の説明でした。主に「飲み物」を作っているということで、「生み出す」→「つくる」→「届ける」そして、この流れを支える仕事があるそうです。

具体的に、「生み出す」とは、商品開発の研究とマーケティングなどの仕事で、味や容器の素材、発売の時期、流行の調査など進めるようです。「つくる」は、材料の調達や工場での安全管理や生産についてです。「届ける」は、営業でお店に商品を並べてもらうために、商品の説明やアピール、打合せの資料作成や実際に商品を並べるなど行うとのことでした。最後の「支える」は、品質保証として、原材料の品質確認やお客様相談、他にも人事の仕事として、社員の働く環境整備など幅広く行っているとのことでした。地域共創の一環で女子サッカーチームの応援、社会貢献と

しての『三ツ矢サイダーラボ』も含まれるとのことです。そして、今回子どもたちに考えてもらう内容に入りました。それは「世界みんなが笑顔でくらすための」と称して、SDGｓの話になりました。三ツ矢サイダーを題材に「水の大切さと環境について」考えてみることになりました。ＳＤＧｓでみると、６番「安全な水とトイレを世界中に」１４番「海の豊かさを守ろう」１５番「陸の豊かさも守ろう」になるとのことです。日常で使う「水」は、どんな時にどのくらいということで、大量の水を使っている現状を知りました。しかし、世界に目を向けると、世界中で約４人に１人（８０億人中２２億人）が安心して水を飲むことができない状態とのことでした。そして、休憩を挟んで、ＳＤＧｓの６番、１４番、１５番について、具体的にその重要性を示され、一人一人が日常的に「水や環境を守るために行っていると思うこと」に目を向けるよう話が進められました。付箋紙を活用して、思いついたことを書き出してみました。中には、「歯磨きの時にコップを使っている」「こまめに電気をつけたり消したりしている」など、日常の生活が伺える内容もありました。その後、三ツ矢サイダーとして現在取り組んでいることとして、ラベルのスリム化、ＰＥＴ樹脂使用量の削減なども教えてくださいました。そして、いよいよ今回のメインテーマの「もし、アサヒ飲料の社員なら『水や環境の大切さを伝えるためにどんな仕事をしたいか？どんなものをつくりたいか？』を個人で考え、グループでまとめる作業に入りました。ワークシートを用意してくださり、これまでの説明を基に各自で考え、グループでまとめることになりました。４つの班でまとめ発表です。１日目では、１班は「環境についてのイベントをペットボトルのラベルで宣伝したり、使ったペットボトルをきれいにしてもう１度使えるようにする仕事がしたい」２班は「再利用しやすい素材のペットボトルを作る仕事、材料の調達をなるべく近いところから仕入れられるような活動、お店に出す時、環境の大切さを伝えるポスターを一緒に置かせてもらえるように説明する仕事がしたい」３班は「プラスチックのペットボトル以外に紙でパックの三ツ矢サイダ



ーなど作りたいです」４班は「水をきれいにするために、ごみ拾いの日を決めて、その集めたごみで、CO2 を吸収する素材を作って、その素材でペットボトルのラベルを作りたいです」の４つになり、それぞれ発表しました。２日目の１班は「研究の仕事と営業の仕事をして、リサイクルをできるようにして、ポイ捨てをしても自然に戻る素材を作って、それを届けること（バルーンみたいな素材）がしたい」２班は「ラベルをなくし、そのペットボトルに商品名などを刻み、そのペットボトル自体を土にかえる素材などで作る。歯がきれいになるジュース、いろいろな風景を感じられるジュースを作り、その CM を作りたい」３班は「捨てられたものを使って素材をうすくして、簡単につぶせるようにして CO2 を食べるものを作って、環境に配慮することをお願いする営業活動がしたい」４班は「自然や水を大切にできる飲料を作りたい」とまとめ、代表者や班全員で発表しました。最後に全員で、今日の活動を祝って、三ツ矢サイダーかカルピスで乾杯をし、集合写真を撮って終わりました。お土産もいただきました。